

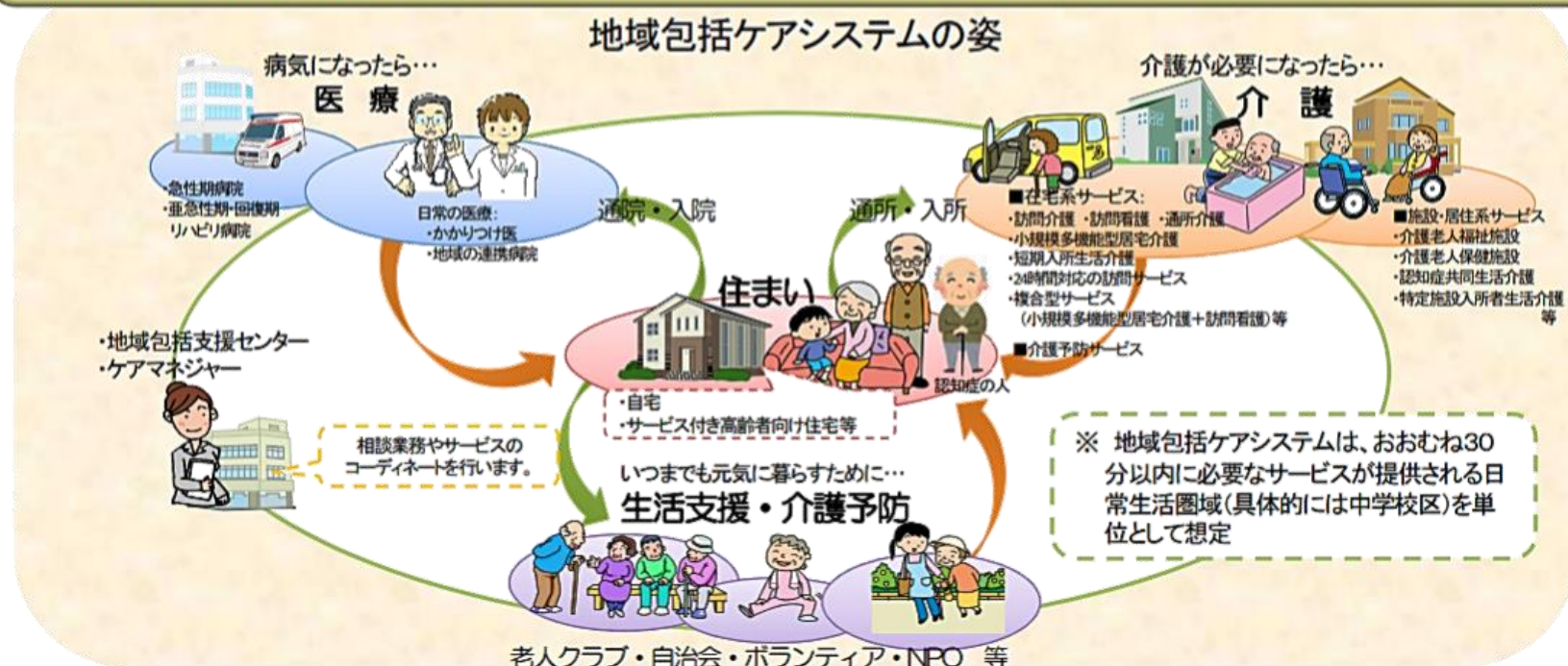
離島・北部三村における 地域包括ケアシステム構築モデル事業 事業説明



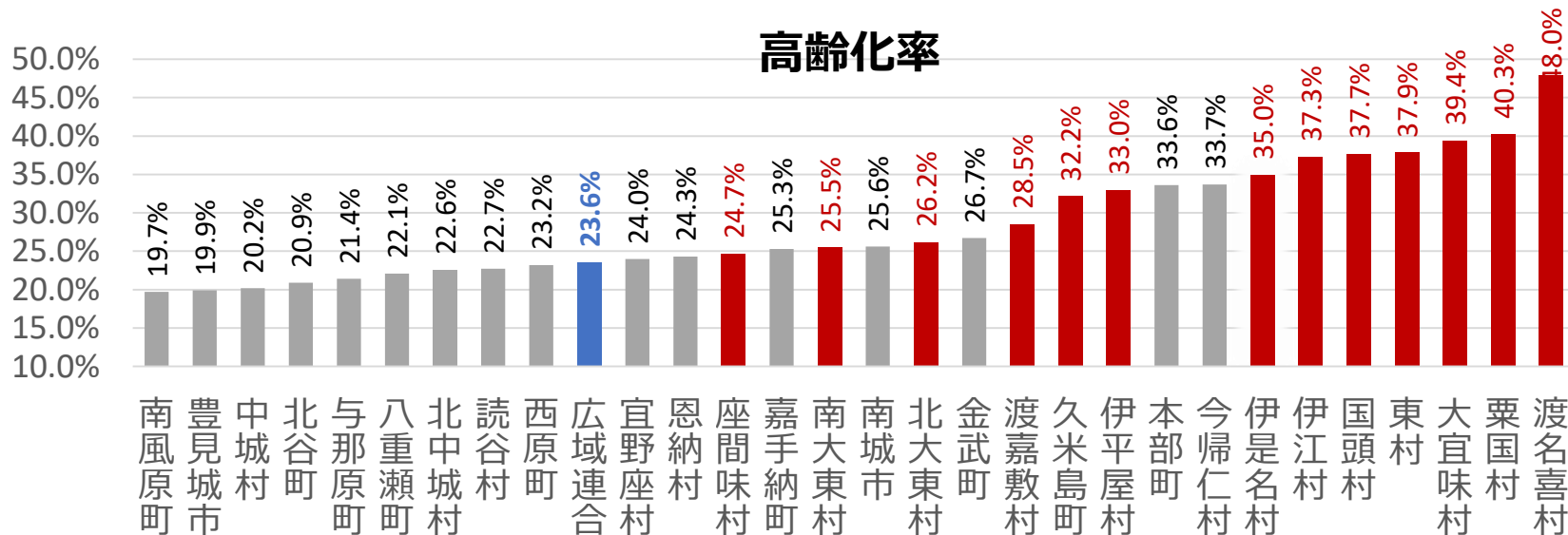
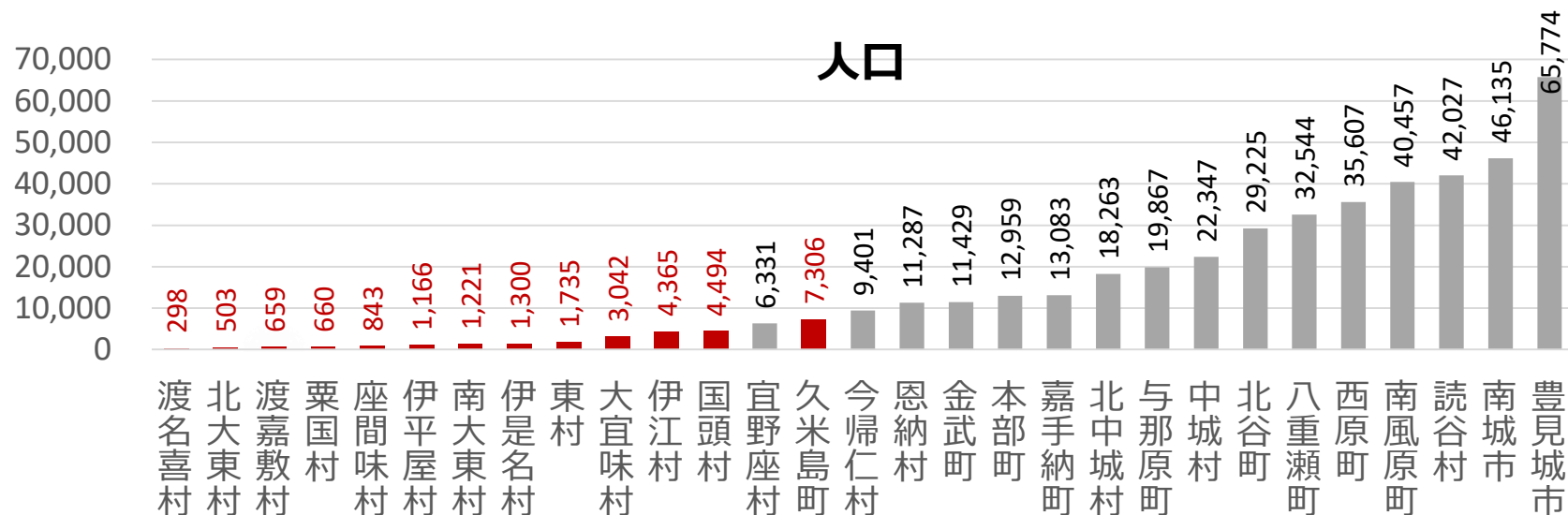
地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**

地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要**です。



広域連合構成市町村の人口および認定率



[出典] 介護保険事業状況報告（令和4年度年報）より作成，令和5年3月末現在

離島・北部3村の医療・介護資源

市町村	高齢者人口 (R5.3月)	医療資源 (2022年11月時点)			介護資源 (2022年9月時点)										
		病院	診療所	医師	介護老人福祉施設		認知症共同生活介護		小規模多機能型居宅介護		通所介護		訪問介護施設数	居宅介護支援事業所施設数	介護職員数 (常勤換算)
					施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数			
国頭村	1,692	0	2	2	1	90	2	18	0	0	3	57	1	1	58
大宜味村	1,200	0	1	2	1	50	1	8	1	25	2	51	1	3	50
東村	658	0	1	1	0	0	1	9	0	0	0	0	1	0	13
伊江村	1,630	0	1	2	1	30	1	9	0	0	3	63	2	3	37
伊平屋村	385	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	40	1	1	9
伊是名村	455	0	1	1	1	30	0	0	0	0	1	18	1	1	16
久米島町	2,351	1	1	9	2	59	1	9	1	25	7	125	3	3	91
渡嘉敷村	188	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	15	1	0	—
座間味村	208	0	2	2	0	0	0	0	1	5	2	20	1	1	—
栗国村	266	0	1	1	1	30	0	0	0	0	1	10	1	0	—
渡名喜村	143	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	30	1	1	—
南大東村	311	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	20	1	0	—
北大東村	132	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	20	0	0	—

出典：日本医師会「JMAP 地域医療情報システム」、介護保険事業状況報告（令和4年度年報）、広域連合資料 より作成

本モデル事業導入の経緯

- 離島や北部3村においては、過疎化や少子高齢化が進む状況にあることや、医療・介護資源や人材に限りがあること等から、**国が示した地域包括ケアの考え方がそのままの形では適用できないことが多い。**

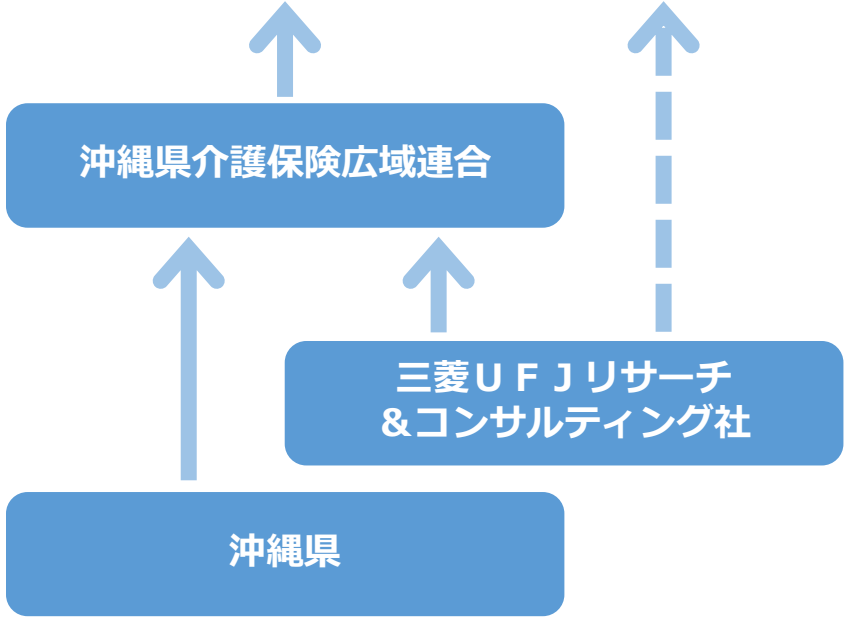
- そうした離島町村等では、健康や介護を理由に村を離れざるを得ない者も少なくない。



- **1年間に健康や介護を理由に村を離れた高齢者の実態を調査**し、どのような体制があれば離村を防ぎ、住み慣れた村／島で暮らし続けることができるか検討することが、**離島等における地域包括ケアシステム構築**につながるのではないだろうか！？

- 令和4年度から、沖縄県の事業として、三菱UFJリサーチ&コンサルティング社の助言を得てモデル事業を実施。そのノウハウを他市町村へ横展開を図る。

本モデル事業の支援体制



《支援体制》

広域連合がモデル自治体を支援し、沖縄県および三菱UFJリサーチ&コンサルティング社が広域連合のサポートを行う。

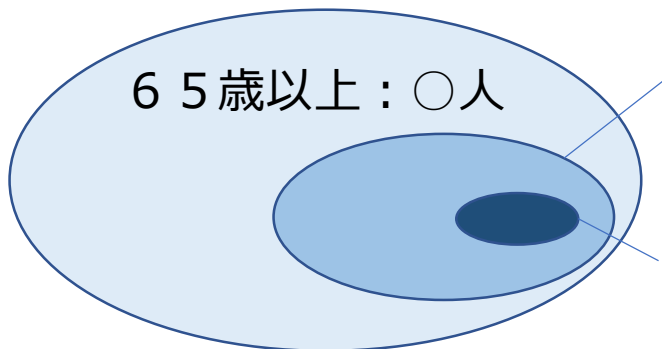
《支援内容》

包括ケアシステム構築にあたっての課題整理や調査に関する整理分析等、リモートおよび現地による支援を行う。

本モデル事業の流れ①

1 過去1年間に、健康や介護を理由に村／島を離れた者を調査

対象者



要支援・
要介護：〇人

過去1年間に
村を離れた者
：〇人

調査方法

- ・ 行政、包括で把握している情報
- ・ 担当ケアマネへの照会
- ・ 民生委員、区長等への聞き取り

調査票

村外に居住する高齢者に関する情報
(対象)：抽出していたケースのうち、2022年1月1日～12月31日に村外に移住した高齢者の方
(回答時の留意点)：特記がなければ、「移住前」の状況について回答をお願いします。
番号を入力する際は半角数字でお願いたします。
：欄頭空欄の場合は「〇」を記入の用いください。「Delete」キーで取り消してください。

項目	1.対象となる高齢者の基礎情報			2.対象となる高齢者の心身の状況			3.対象となる高齢者の転出前のサービス利用状況、送迎等への参加状況					4.対象となる高齢者の世帯や家族支援の状況		
	Q1-1.性別	Q1-2.年齢	Q1-3.居住先	Q2-1.心身の状況	Q2-2.介護サービス利用状況		Q3-1.転出前利用していたサービス	Q3-2.介護サービス受給状況	Q3-3.利用サービスへの参加状況	Q3-4.利用サービスへの参加状況		Q4-1.世帯状況	Q4-2.家族支援	Q4-3.世帯や家族支援の状況
性別	1.男性 2.女性	1.40歳～ 64歳 2.65歳～ 74歳 3.75歳～ 84歳 4.85歳以上	1.家族が居住する村外 2.要支援1 3.要支援2 4.要介護1 5.要介護2 6.要介護3 7.要介護4 8.要介護5 9.不明 10.未設定(空白) 11.その他	1.認知症の症状 2.11.失禁(精神科) 3.失禁(内科) 4.失禁(外科) 5.その他	1.介護サービス 2.介護サービス 3.介護サービス 4.介護サービス 5.介護サービス 6.介護サービス 7.介護サービス 8.介護サービス 9.介護サービス 10.介護サービス 11.介護サービス 12.介護サービス 13.介護サービス 14.介護サービス 15.介護サービス 16.その他	【15.その他】 その内容		1.訪問介護 2.訪問看護 3.通所介護 4.訪問介護 5.サービス 6.その他	1.訪問介護 2.訪問看護 3.通所介護 4.訪問介護 5.サービス 6.その他	1.サービス 2.サービス 3.サービス 4.サービス 5.サービス 6.サービス 7.サービス 8.サービス 9.サービス 10.サービス 11.サービス 12.サービス 13.サービス 14.サービス 15.サービス 16.その他	1.世帯 2.世帯 3.世帯 4.世帯 5.世帯 6.世帯 7.世帯 8.世帯 9.世帯 10.世帯 11.世帯 12.世帯 13.世帯 14.世帯 15.世帯 16.その他	1.世帯 2.世帯 3.世帯 4.世帯 5.世帯 6.世帯 7.世帯 8.世帯 9.世帯 10.世帯 11.世帯 12.世帯 13.世帯 14.世帯 15.世帯 16.その他	1.世帯 2.世帯 3.世帯 4.世帯 5.世帯 6.世帯 7.世帯 8.世帯 9.世帯 10.世帯 11.世帯 12.世帯 13.世帯 14.世帯 15.世帯 16.その他	

村外に居住する高齢者に関する情報
(対象)：抽出していたケースのうち、2022年1月1日～12月31日に村外に移住した高齢者の方
(回答時の留意点)：特記がなければ、「移住前」の状況について回答をお願いします。
番号を入力する際は半角数字でお願いたします。
：欄頭空欄の場合は「〇」を記入の用いください。「Delete」キーで取り消してください。

項目	5.移住のきっかけ、理由、移住先			6.その他、世帯や家族等の状況			7.村外で生活を送るために必要な支援			8.その他		
	Q5-1.移住のきっかけ	Q5-2.理由	Q5-3.移住先	Q6-1.世帯状況	Q6-2.家族支援	Q6-3.世帯や家族支援の状況	Q7-1.生活に必要な支援	Q7-2.生活に必要な支援	Q7-3.生活に必要な支援	Q8-1.その他	Q8-2.その他	Q8-3.その他
移住のきっかけ	1.健康 2.介護 3.その他	1.健康 2.介護 3.その他	1.健康 2.介護 3.その他	1.世帯 2.世帯 3.世帯 4.世帯 5.世帯 6.世帯 7.世帯 8.世帯 9.世帯 10.世帯 11.世帯 12.世帯 13.世帯 14.世帯 15.世帯 16.その他	1.世帯 2.世帯 3.世帯 4.世帯 5.世帯 6.世帯 7.世帯 8.世帯 9.世帯 10.世帯 11.世帯 12.世帯 13.世帯 14.世帯 15.世帯 16.その他	1.世帯 2.世帯 3.世帯 4.世帯 5.世帯 6.世帯 7.世帯 8.世帯 9.世帯 10.世帯 11.世帯 12.世帯 13.世帯 14.世帯 15.世帯 16.その他	1.生活に必要な支援 2.生活に必要な支援 3.生活に必要な支援 4.生活に必要な支援 5.生活に必要な支援 6.生活に必要な支援 7.生活に必要な支援 8.生活に必要な支援 9.生活に必要な支援 10.生活に必要な支援 11.生活に必要な支援 12.生活に必要な支援 13.生活に必要な支援 14.生活に必要な支援 15.生活に必要な支援 16.その他	1.生活に必要な支援 2.生活に必要な支援 3.生活に必要な支援 4.生活に必要な支援 5.生活に必要な支援 6.生活に必要な支援 7.生活に必要な支援 8.生活に必要な支援 9.生活に必要な支援 10.生活に必要な支援 11.生活に必要な支援 12.生活に必要な支援 13.生活に必要な支援 14.生活に必要な支援 15.生活に必要な支援 16.その他	1.生活に必要な支援 2.生活に必要な支援 3.生活に必要な支援 4.生活に必要な支援 5.生活に必要な支援 6.生活に必要な支援 7.生活に必要な支援 8.生活に必要な支援 9.生活に必要な支援 10.生活に必要な支援 11.生活に必要な支援 12.生活に必要な支援 13.生活に必要な支援 14.生活に必要な支援 15.生活に必要な支援 16.その他	1.その他 2.その他 3.その他 4.その他 5.その他 6.その他 7.その他 8.その他 9.その他 10.その他 11.その他 12.その他 13.その他 14.その他 15.その他 16.その他	1.その他 2.その他 3.その他 4.その他 5.その他 6.その他 7.その他 8.その他 9.その他 10.その他 11.その他 12.その他 13.その他 14.その他 15.その他 16.その他	1.その他 2.その他 3.その他 4.その他 5.その他 6.その他 7.その他 8.その他 9.その他 10.その他 11.その他 12.その他 13.その他 14.その他 15.その他 16.その他

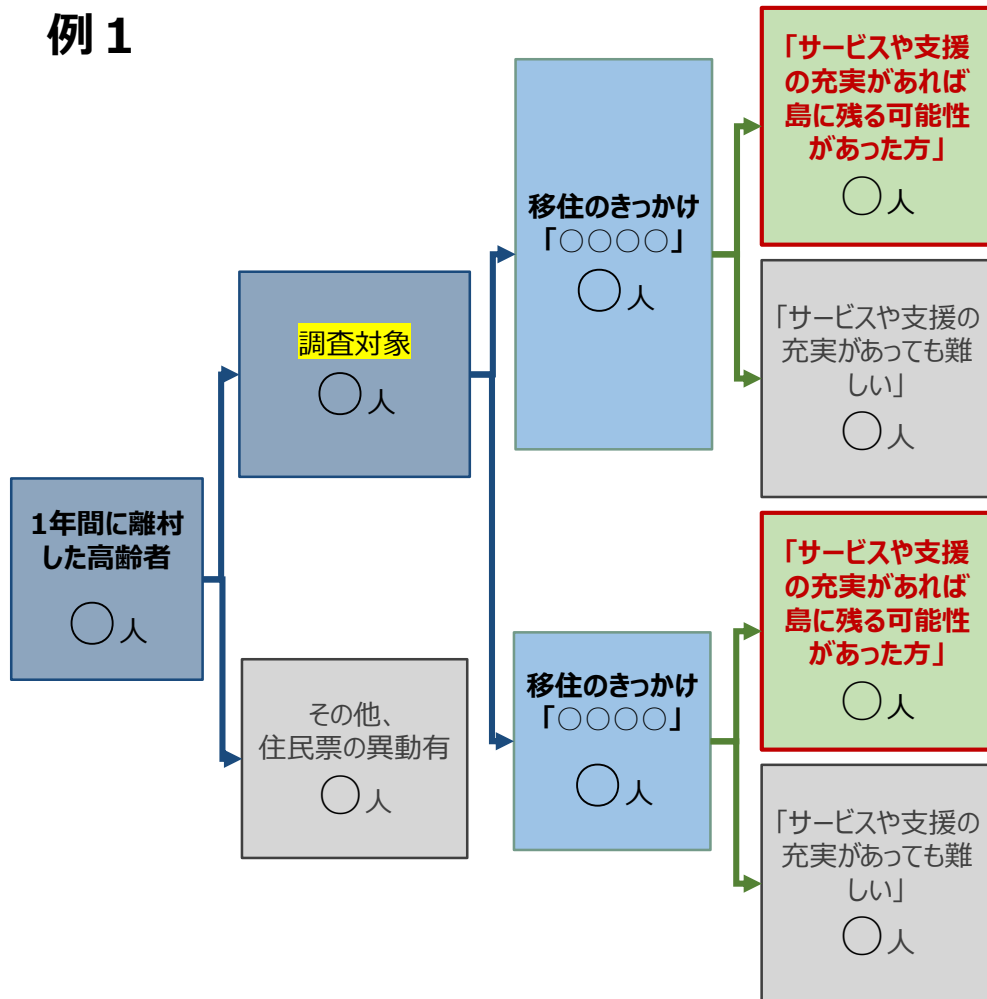
《主な調査項目》

- ・ 性別、年齢、要介護度
- ・ 心身の状況
- ・ サービスの利用状況
- ・ 移住のきっかけ
- ・ キーパーソン
- ・ 移住の主な理由
- ・ **どのような支援があればより長い期間 村／島に残ることができたか**

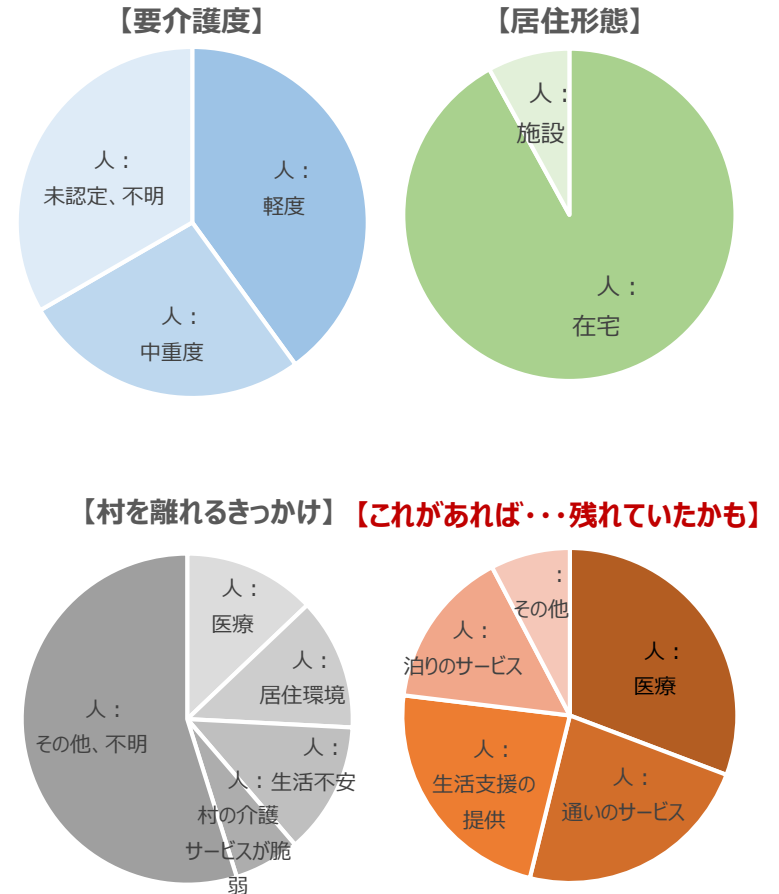
本モデル事業の流れ②

2 調査結果の整理および分析

例 1



例 2



本モデル事業の流れ③

3 どのようなサービスや支援があれば、村／島での生活を継続できたか、可能性を検討

例

《村／島を離れた理由》

- ・ 脳卒中、心疾患等による入院
- ・ 骨折等により入院し、退院後の生活に不安
- ・ 退院後に十分な検討がされずに施設を選択
- ・ 身寄りがなく万が一の時に不安
- ・ 住居の老朽化



《検討事項》

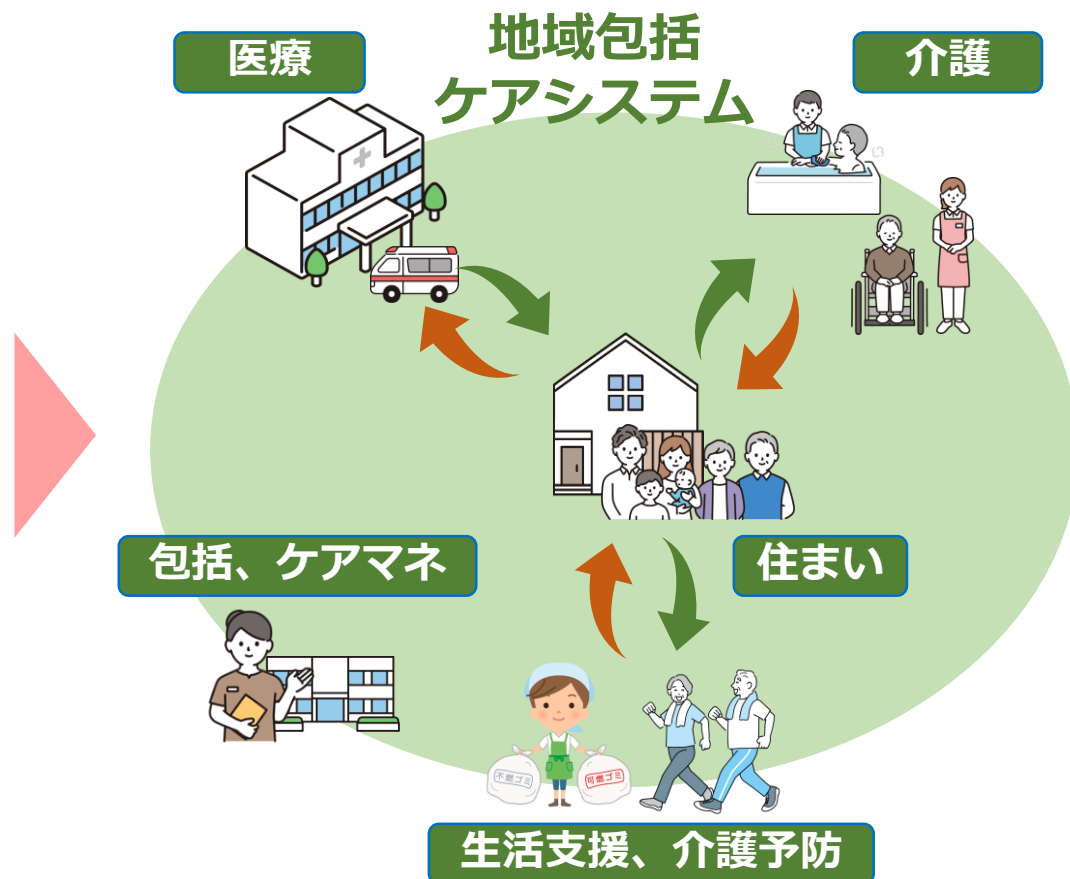
- ・ 健康管理、介護予防の強化
- ・ 訪問、通所リハの充実
- ・ “在宅復帰支援チーム” 設置
- ・ 地域コミュニティの紹介
緊急通報システムの導入
- ・ 空き家の調査
修繕できる人がいないか

本モデル事業の流れ④

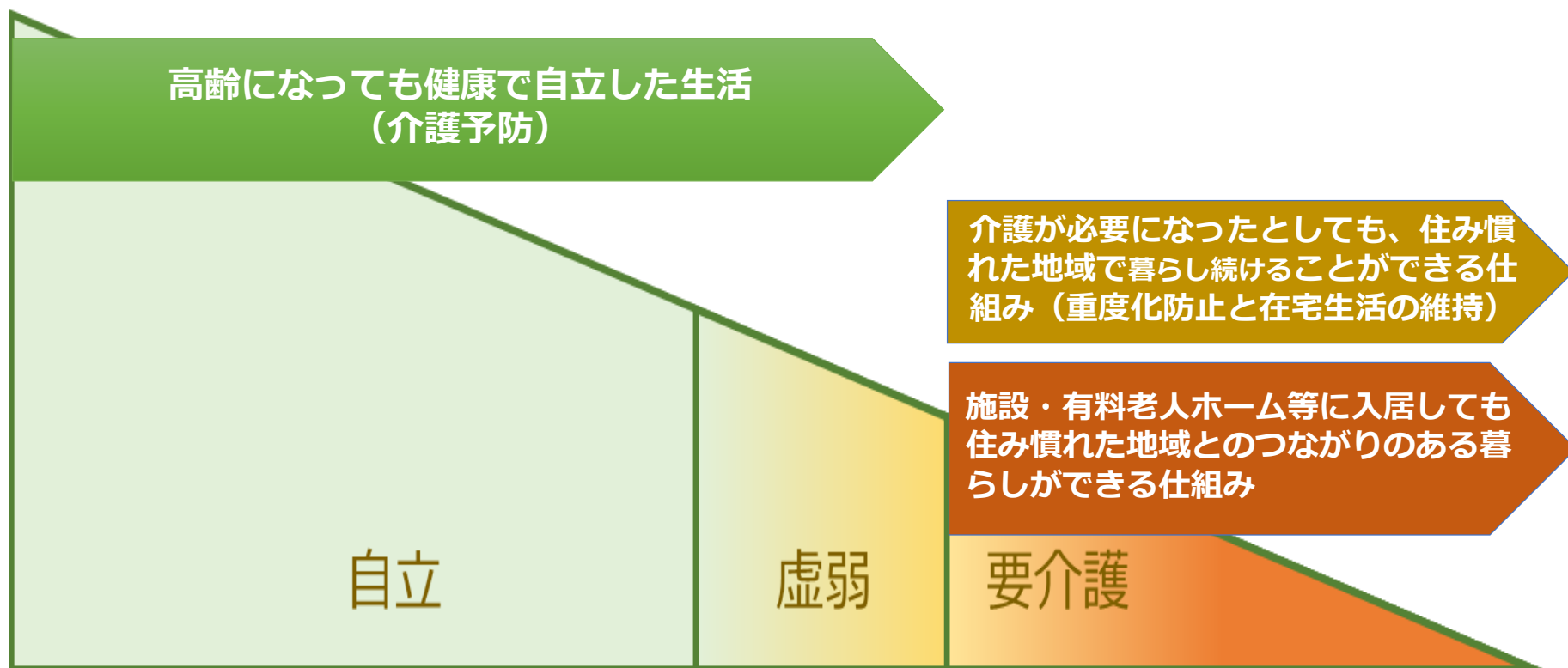
4 もし介護が必要となっても、住み慣れた村／島で暮らし続けることができる仕組み（＝地域包括ケアシステム）を築き上げる

《市町村の方向性を検討》

- ・ 必要な介護サービスや施設の整備
- ・ 高齢者の住まいの問題
- ・ 住民等による様々な助け合い
- ・ 医療機関との連携・・・等



離島・北部3村に限らず・・・



地域包括ケアシステムを構築する上で、どのような仕組みがあれば住み慣れた地域で暮らし続けることができるかを考える必要がある。